

平成29年度

公益財団法人 鹿児島市水族館公社

決算に関する書類

公益財団法人 鹿児島市水族館公社

目 次

平成 29 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告書

1	概要	1
2	事業活動の状況	1
3	会議に関する事項	12
4	役員等に関する事項	13
5	登記事項	14
6	常勤の役員及び職員に関する事項	14

平成 29 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社決算報告書

1	貸借対照表	16
2	貸借対照表内訳表	17
3	正味財産増減計算書	18
4	正味財産増減計算書内訳表	19
5	財務諸表に対する注記	21
6	附属明細書	22
7	財産目録	23

平成29年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告書

1 概要

平成29年度は、開館20周年の節目の年にあたり、かごしま水族館の指定管理者として、市民等の健全な余暇の活用や観光振興に資する施設として、これまで同様、効率的な管理運営に努めました。

水族の展示等については、開館20周年記念事業として、鹿児島市と連携して本館3階に新コーナー「鹿児島の深海」等のオープンを行ったほか、3月13日には当館で初めてゴマフアザラシの出産に成功いたしました。

教育普及活動等については、1階「ワクワクはっけんひろば」で、ミニワークショップ等を開催し、子どもから大人まで多様な学びの機会を提供いたしました。

広報宣伝活動については、九州各県や関西・関東方面への誘致活動並びに幼稚園・保育園訪問等を行ったほか、海外の大型観光船乗客や個人旅行者への誘致活動などインバウンド対策に引き続き取り組みました。

平成29年度の入館者数は657,570人、1日平均は1,827人、有料入館者数は522,730人、入館料収納額は551,987,630円となりました。(P8 別表1)

収益事業につきましては、水族館関連商品を販売するアミューズメントショップや自動販売機などの運営を行い、自主事業や広報宣伝事業の財源を確保することに努めました。

この他、鹿児島市認定の環境管理事業所として、引き続きエネルギーの消費削減等に努めました。

2 事業活動の状況

(1) 開館20周年記念事業

- 1) 開館20周年記念式典の実施
- 2) 新コーナー「クラゲ回廊」、「鹿児島の深海」オープン
- 3) 「～かごしま水族館が確認した～鹿児島の定置網の魚たち」図鑑(増訂版)の発行
- 4) 20周年記念誌の発行
- 5) 20周年記念講演の実施

(2) 公益事業

鹿児島市との協定に基づきかごしま水族館の管理運営等を行うとともに、水族の保護及び水族に関する教育文化の振興に寄与するため自主事業と受託事業を行いました。

1) 自主事業

① 水族館スクールの開催

水族に関する知識の普及や啓発を目的に水族館スクールを実施いたしました。

	実施日	タイトル	参加人数	合計
第1回	6月18日	体験！一日飼育係	32人	106人
第2回	7月8日	大人のための体験飼育係	23人	
第3回	11月12日	大人のための体験飼育係	21人	
第4回	1月28日	体験！一日飼育係	30人	

② ニュースレター「さくらじまの海」の発行

展示生物の紹介やかごしま水族館のイベント・トピックス等を紹介する情報誌「さくらじまの海」を4回発行し、学校・団体等に配布しました。

③ かごしま水族館ボランティアの運営

水族館での展示生物等の解説や障害者の介助を目的とするボランティアの研修を実施し円滑な運営に努めるとともに、平成30年度に向けて第21期生の募集を行いました。

ボランティア（平成10年から）	人 数
第1期生～第20期生（平成30年3月末現在）	110人

④ 水族の保護及び保存に関する調査研究活動

ア. ジンベエザメの放流及び生態調査

- ・ジンベエザメ7代目「ユウユウ」が成長したことから、8月17日に水族館から搬出しました。また、放流するジンベエザメについて、バイオロギング※を用いた自然下での摂餌物の解明等を目的とした生態行動調査を、長崎大学及び北海道大学と共同で実施しました。

(※)バイオロギング

生きものにカメラや記録計等の小型のセンサーを取り付け、自然下での行動や生態を調査する手法のこと。

イ. 錦江湾内で鯨類調査を10回実施しました。

調査日	ミナミハンドウイルカ	ハセイルカ	ハンドウイルカ	調査海域
4月 8日	1群30頭	—	—	湾 奥
6月 6日	1群40頭	—	—	湾 奥
7月11日	3群33頭	—	—	全 域
8月 1日	1群10頭	—	—	湾 奥
9月12日	1群50頭	—	—	湾 奥
10月12日	2群60頭	—	—	湾 奥
11月 1日	2群60頭	—	—	湾 奥
12月19日	1群 6頭	—	—	湾 奥
1月19日	1群 2頭	1群200頭	1群 6頭	全 域
2月23日	2群35頭	—	—	湾 奥

2) 受託事業

① 敷地、建築物及び附属設備等の維持管理

建物等の清掃、警備及び維持管理、諸設備の運転管理や保守、鹿児島市の「公共建築物ストックマネジメント事業」に基づき、計画的な建築物等の維持保全に努めました。

② 水族の収集、飼育及び展示

ア. 新コーナーのオープン

- ・開館20周年事業の一環として、これまで展示することが難しかった鹿児島海にすむ深海生物を常設展示するコーナー「鹿児島の深海」を4月20日にオープンさせたほか、2階アクアラボコーナーを展示更新し、国内では唯一となる多種多彩なウミウシを常設展示するコーナー「うみうし研究所」や、サンゴの生態や繁殖などを紹介する「サンゴ繁殖センター」をオープンさせ、展示のさらなる充実に取り組みました。

イ. アザラシの繁殖等について

- ・アザラシの繁殖等については、平成25年から飼育していたゴマフアザラシの「ゴマミ」が妊娠していることを確認し、3月13日に出産しました。赤ちゃんは、現在、職員による人工保育を行っており、順調に成長しております。一方、母親の「ゴマミ」は、出産後体調を崩し、3月18日に残念ながら死亡しました。

ウ. 新規の館内展示水族

主な新規展示水族

展示開始日	生物名	展示開始日	生物名
4月20日	ハマダイ	11月11日	ヤマトナンカイヒトデ
4月20日	アシナガサンゴ	12月23日	トウアカクマノミ
4月22日	キツネダイ	12月23日	ユビワイソギンチャク
4月28日	ムラサキヌタウナギ	1月25日	タカベ

③ 特別企画展等の開催

常設展示とは異なったテーマで様々なアイデアや趣向を凝らし、ポピュラーな話題から専門的なものまで深く掘りさげて情報提供するとともに、リピーターの方々にも楽しんでいただけるように、次の特別企画展等を実施いたしました。

特別展示

	開催期間	タイトル
第1回	平成28年 平成29年 10月15日～ 6月25日	期間限定！ クラゲ&深海生物の「いおっこひろば」

特別企画展

	開催期間	タイトル
第1回	7月15日～ 9月24日	見てる聞いている感じる ～魚たちの五感にせまる～
第2回	12月23日～ 4月 8日	ぼくらのおうち ～ふかふかイソギンチャクをさがして～

④ 体験型講座の実施

薩摩伝統の郷中教育の要素を取り入れた体験型連続講座「いおっ子海っ子体験塾」や、体験型講座「ワクワクきびなご塾」を実施したほか、学校及び団体向けのプログラム「いおワールド生きもの講座」、職場体験や学芸員等実習の受入れを行いました。

	タイトル	実施回数	参加人数
1	いおっ子海っ子体験塾	14回	275人
2	ワクワクきびなご塾	10回	389人
3	いおワールド生きもの講座	195回	9,349人
4	職場体験学習	22回	68人
5	学芸員等実習	6回	6人
合計		247回	10,087人

⑤ 各種イベントの実施

定例の館内イベントのほか、次の特別イベントを実施いたしました。

	イベント名 (回数等)	内容
1	夜の水族館 (20回)	ゴールデンウィークや夏休みの土、日曜日、祝日とお盆期間、クリスマスに開館時間を21時まで延長しました。
2	水族館に泊まろう (12回)	ジンベエザメやイルカを眺めながら水族館に泊まるイベントを行いました。館内のガイドツアーやバックヤード見学なども行いました。
3	いおの日 (14回)	毎月10日に手作り魚釣りや工作教室、絵本の読み聞かせなどのイベントやスタンプラリーを開催しました。
4	飼育の日イベント (1回)	4月19日の「419 (飼育)」の日にちなみイベントを行いました。 ・ちびっこ飼育係 おさかなのエサやりにちょうせん!
5	星に願いを! ~水族館で七夕飾り~	7月1日~8月7日の期間で来館者に短冊に願い事を書いていただき、10月15日に願い事を叶えるイベントを行いました。
6	紙粘土で海の生きものを作ろう (4回)	ジンベエザメやイルカ、ゴマフアザラシなどをカラー紙粘土で作るイベントを行いました。
7	星砂をさがそう (5回)	砂の中から星砂を見つけるイベントを行いました。星砂は小ビンに詰めてプレゼントしました。
8	アクアリウムディナー (1回)	黒潮大水槽の前で本格フレンチディナーを楽しんでいただきました。音楽の生演奏や飼育員による生きもの解説も行いました。
9	スペシャルガイドツアー・バックヤードツアー (119回)	春休みや夏休みなどに飼育員による通常よりさらに詳しく案内するガイドツアーを行いました。
10	ミニコンサート (6回)	黒潮大水槽の前でハンドベルやヴァイオリン、琴などのミニコンサートを開催しました。
11	イルミネーション展示 (88日間)	職員手作りのイルカ等のオリジナルイルミネーションの展示を行いました。
12	フォトコンテスト	水族館の生きものを対象にしたフォトコンテストを実施しました。応募数 218作品 優秀作品 39作品 展示期間12月2日~1月31日

13	ピラルクーにエサやり体験 (9回)	世界最大の淡水魚ピラルクーにエサを与えるイベントを行いました。
14	黒潮大水槽バックヤード一般公開 (17回)	普段見ることができない黒潮大水槽の裏側を公開しました。
15	ジンベエザメの食事をまちかで見よう (7回)	黒潮大水槽のバックヤードからジンベエザメの食事の様子を飼育員の解説付きで紹介するイベントを行いました。
16	潜水艇「はくよう」の中に入っちゃおう！ (11回)	「はくよう」の中に入って、潜水艇内の各種計器や装置を体験してもらいました。
17	みんなでイルカにタッチ (4回)	希望者全員がイルカにタッチできるイベントを行いました。
18	イルカにタッチ30人 (2回)	抽選で選ばれた方に、エサを与えたり触れ合うイベントを行いました。
19	イルカのトレーナー体験 (4回)	イルカにエサを与えたり、合図を出したりするイベントを行いました。
20	アザラシのトレーナー体験 (8回)	ゴマフアザラシにエサを与えたり、合図を出したりするイベントを行いました。
21	あなたと私とアザラシと記念撮影 (1回)	アザラシと一緒に記念写真が撮れるイベントを行いました。
22	すてきな海のキャンドルを作ろう！ (2回)	カップに星砂や貝殻を入れたジェルキャンドル作りを行いました。
23	水族館で凧を作ろう！ (1回)	水族館の生きものを描いてオリジナルの凧を作るイベントを行いました。
24	トワイライトアクアリウム (12回)	水槽照明を変更して、夜の魚たちの様子を観察できるようにするほか、館内のBGMの変更や館外にイルミネーションを設置し、普段とは違う雰囲気演出する「夜の水族館」限定のイベントを行いました。
25	プラネタリウム in 水族館 (1回)	水槽の前でプラネタリウムを上映し、魚と星を観察しながら、魚や海に関する星座、サンゴ礁と月の関係など解説するイベントを行いました。
26	自由研究応援イベント (2回)	夏休みの自習研究にできるイベントを実施しました。 ・「ちりめんモンスター図鑑を作ろう」
27	特別企画展等関連イベント (6回)	新コーナーオープンや特別企画展等に合わせてイベントを実施しました。 ・「深海魚リュウグウノツカイを観察しよう」 ・「イソギンチャク巾着を作ろう」 ・「魚の耳石を探そう」 ・「サンゴミニタオルプレゼント」

※ 網かけは平成29年度初実施のイベント

⑥ 講演会等の開催

	開催日	講演内容
1	4月20日	新コーナーオープニングイベント 「“世界一のクラゲ水族館” 奥泉館長のギャラリートーク」 講師：奥泉 和也 氏（鶴岡市立加茂水族館 館長）
2	5月30日	かごしま水族館開館20周年記念講演 「ジンベエザメ展示と放流」 講師：荻野 洸太郎（かごしま水族館 館長）
3	7月 2日	「日本一の泥干潟、有明海の生きものたち」 講師：佐藤 正典 氏（鹿児島大学教授）
4	7月 9日	サメ世界 in 鹿児島 海と日本 PROJECT 「サメと巡り合って・サメの解剖教室」 講師：仲谷 一宏 氏（北海道大学名誉教授）
5	8月20日	ジンベエザメを追え！ 海と日本 PROJECT 「バイオロギング教室」 講師：米山 和良 氏（北海道大学助教）
6	3月25日	「宇宙よりも遠い深海に棲む生物たちの不思議」 講師：三宅 裕志 氏（北里大学准教授）

⑦ 広報宣伝事業

入館者増に向けた広報宣伝活動として、関東・関西方面や海外にも誘致活動を行ったほか、幼稚園・保育園訪問、テレビCMの放映などや、報道機関への情報提供に努めました。

ア. テレビCM等の制作・放送

ゴールデンウィークや夏休み、春休みの観客誘致のために、15秒のテレビCMを制作し、九州各県で合計2,084本放映しました。

時期	放送期間	本数	合計
ゴールデンウィーク	4月15日～ 5月 5日	657本	2,084本
夏休み	7月14日～ 8月27日	716本	
春休み	3月10日～ 3月31日	711本	

イ. 報道機関への情報提供

新たな展示水族等に関する「いおワールド情報」を報道機関へ提供し、新聞記事として掲載されたほか、テレビ等で報道されました。

ウ. 旅行代理店への誘致活動等

入館者増を図るため、旅行代理店や学校並びに幼稚園・保育園等を訪問し、誘致活動を行いました。

地域	訪問先	訪問件数	合計
九州地区	旅行代理店	134件	1,293件
	学 校	178件	
関東・関西・中国地区等	旅行代理店	77件	
	学 校	135件	
県内・都城及び熊本県南部	幼稚園・保育園	769件	

また、アジアの国々からの誘客を目的とした海外誘致セールス（韓国・中国・台湾）にも引き続き参加しました。

エ. その他

- ゴールデンウィークや夏休みなどのイベント情報を載せた水族館イベントチラシを作成し、市内・県内及び熊本・宮崎県の小中学校や幼稚園・保育園に配布しました。
- 電照広告看板をJR鹿児島中央駅や桜島フェリーに引き続き設置したほか、肥薩おれんじ鉄道とは、共同イベントやラッピング電車への広告を実施しました。また、高速道路利用者に対する広報も引き続き実施しました。
- 年間パスポートについては、イベントチラシ等により周知を図りました。
- 「かごしま水族館割引券」等の利用促進を図るため、県内のホテル・旅館107件を訪問しました。
- 県内外で行われたイベントなどでチラシ等を配布しました。

⑧ 職員等の採用

ア 職員

採用日	職種	採用人数
10月 1日	技術職員（電気）	1人

イ 嘱託員

採用日	職種	採用人数
4月 1日	券売・案内・アミューズメントショップでの販売・展示解説	10人
7月 1日	券売・案内・展示解説	2人

(3) 収益事業

入館者の利便を図るとともに、自主事業や広報宣伝事業の財源を確保するためにアミューズメントショップの運営などの付帯事業を実施しました。

① アミューズメントショップ等

水族館に関連する菓子やぬいぐるみ、文具雑貨等の商品を販売するアミューズメントショップの運営を行いました。

また、仙巖園との共通チケットの販売を行いました。

平成29年度売上額

アミューズメントショップ	217,973,213円（P10 別表2）
共通チケット	6,814,000円
合計	224,787,213円

② 自動販売機

入館者へのサービスに供するため、自動販売機10台（展望ホール5台、イルカ館2台、屋外3台）の運営を行いました。

平成29年度販売手数料 10,635,624円（P10 別表2）

(別表1)

入館者の種別と入館料収納額

種 別		入館者数 (人)	構成比 (%)	入館料収納額 (円)	
有 料 入 館 者	個人	大 人	235,594	35.8%	352,652,400
		小 人	48,427	7.4%	34,518,450
		幼 児	27,761	4.2%	9,663,010
		敬 老	3,045	0.5%	2,283,750
		観 光	40,077	6.1%	44,984,600
		小 計	(354,904)	(54.0%)	(444,102,210)
	団体	大 人	32,719	5.0%	39,262,800
		小 人	24,807	3.8%	14,882,500
		幼 児	4,907	0.7%	1,373,960
		小 計	(62,433)	(9.5%)	(55,519,260)
	市内 学校 教育 等	大 人	186	0.1%	139,500
		小 人	4,657	0.7%	1,746,375
		幼 児	6,031	0.9%	1,055,425
		小 計	(10,874)	(1.7%)	(2,941,300)
	年間 パス ポート	大 人	15,147	2.3%	41,868,900
		小 人	3,831	0.6%	5,242,950
		幼 児	3,599	0.5%	2,313,010
		小 計	(22,577)	(3.4%)	(49,424,860)
	年間 2回 パス ポート 以降	大 人	48,560	7.4%	/
		小 人	10,185	1.5%	
幼 児		13,197	2.0%		
小 計		(71,942)	(10.9%)		
有 料 合 計		522,730	79.5%	551,987,630	
無 料 入 館 者	個人	障害者手帳等	22,353	3.4%	/
		3歳以下等	92,311	14.0%	
		視察その他	6,671	1.0%	
		小 計	(121,335)	(18.4%)	
	団体	生徒等	4,464	0.7%	
		引 率	9,041	1.4%	
小 計	(13,505)	(2.1%)			
無 料 合 計		134,840	20.5%		
合 計		657,570	100.0%		
平成28年度		656,146		536,146,465	
平成28年度比		1,424	100.2%	15,841,165	

入館者の状況

開 館 日 数	360 日	休館日	12月4日から12月7日まで
1日平均入館者数	1,827 人		
1日最多入館者数	13,020 人		5月5日(金)
1日最小入館者数	306 人		2月2日(金)

※臨時休館：8月6日(日)、9月17日(日)9時30分～13時

月別入館者の状況

(単位：人，%)

月	開館 日数	有 料						無料計	月計
		大人	小人	幼児	敬老	年間パス (2回目以降)	小計		
4月	30	24,544	5,887	4,251	337	6,623	41,642	9,987	51,629
5月	31	41,885	15,397	2,671	428	7,101	67,482	18,655	86,137
6月	30	19,963	3,503	2,712	167	5,406	31,751	9,933	41,684
7月	31	30,865	6,628	3,997	297	8,078	49,865	12,812	62,677
8月	30	58,968	19,723	8,086	717	9,973	97,467	20,119	117,586
9月	30	22,462	5,701	2,488	124	6,099	36,874	13,455	50,329
10月	31	22,916	8,895	3,203	219	5,122	40,355	10,640	50,995
11月	30	18,269	6,990	2,221	170	4,162	31,812	8,982	40,794
12月	27	17,732	3,471	2,198	131	4,929	28,461	6,737	35,198
1月	31	18,876	3,230	2,971	149	4,715	29,941	7,498	37,439
2月	28	17,376	2,203	3,407	90	4,226	27,302	7,012	34,314
3月	31	23,937	5,598	4,519	216	5,508	39,778	9,010	48,788
計	360	317,793	87,226	42,724	3,045	71,942	522,730	134,840	657,570
構成比		48.3	13.3	6.5	0.5	10.9	(79.5)	20.5	100.0

(別表2)

アミューズメントショップ・自動販売機の状況

(1) アミューズメントショップの購買者数・利用率・売上額・客単価

入館者数 (A)	購買者数 (B)	利用率 (B/A)	売上額 (C)	客単価	
				(C/B)	(C/A)
657,570	159,715	24.3%	217,973,213	1,365	331

(2) 自動販売機の購買回数・利用率・手数料額

入館者数 (A)	購買回数 (B)	利用率 (B/A)	手数料額 (C)
657,570	176,866	26.9%	10,635,624

(3) 月別状況

	アミューズメントショップ		自動販売機	
	売上額(円)	構成比	手数料額(円)	構成比
4月	15,439,285	7.1%	693,324	6.5%
5月	31,752,069	14.6%	1,332,498	12.5%
6月	12,020,624	5.5%	651,236	6.1%
7月	18,939,502	8.7%	1,195,474	11.2%
8月	44,404,687	20.4%	2,393,179	22.5%
9月	16,434,924	7.5%	772,558	7.3%
10月	17,817,282	8.2%	742,769	7.0%
11月	16,589,960	7.6%	555,555	5.2%
12月	9,798,557	4.5%	495,338	4.7%
1月	11,380,643	5.2%	654,943	6.2%
2月	8,595,782	3.9%	431,314	4.1%
3月	14,799,898	6.8%	717,436	6.7%
計	217,973,213	100.0%	10,635,624	100.0%
平成28年度比	4,817,539	102.3%	△ 337,266	96.9%

来館者アンケート調査結果（概要）

(1) 来館者の地域別状況

(単位：%)

地 域		調 査 日	
		7月29日(土) ～7月31日(月)	1月27日(土) ～1月29日(月)
市 内		34.1	43.8
県 内		22.0	23.0
県 外	福 岡	6.0	3.3
	佐 賀	0.7	0.8
	長 崎	1.9	1.5
	熊 本	10.8	10.8
	大 分	0.9	0.3
	宮 崎	6.4	9.8
	中国地方	2.2	0.3
	関西地方	4.0	1.4
	関東地方	5.3	2.2
	そ の 他	4.7	2.2
小 計		42.9	32.6
海 外		0.8	0.5
無 回 答		0.2	0.1
合 計		100.0	100.0

(2) 情報手段

(単位：%)

種 別	調 査 日	
	7月29日(土) ～7月31日(月)	1月27日(土) ～1月29日(月)
テレビCM	20.5	15.9
テレビ	6.0	4.0
新聞	3.3	1.6
友人・知人	16.4	22.7
ポスター	4.0	2.7
ちらし	13.3	7.0
雑誌	3.9	4.2
ラジオ	0.8	0.4
旅行業者	1.4	1.0
ホームページ	11.0	11.5
フェイスブック	0.6	0.5
その他	12.6	21.5
無回答	6.2	7.0
合 計	100.0	100.0

※ サンプル数は、

平成29年7月調査 2,536人

平成30年1月調査 1,535人

3 会議に関する事項

(1) 理事会

平成 29 年度の理事会の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

区分	開催日	議決事項
第 1 回	平成 29 年 4 月 10 日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事・監事及び評議員選任の件における評議員会招集の決定 公益財団法人鹿児島市水族館公社副理事長選定の件
第 2 回	平成 29 年 6 月 1 日	公益財団法人鹿児島市水族館公社評議員選任の件に係る評議員会招集の決定 公益財団法人鹿児島市水族館公社事務局長選任の件
第 3 回	平成 29 年 6 月 12 日	公益財団法人鹿児島市水族館公社役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程一部改正の件に係る評議員会招集の件 公益財団法人鹿児島市水族館公社評議員選任の件に係る評議員会招集の件 平成 28 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告及び収支決算
第 4 回	平成 30 年 2 月 1 日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事及び評議員選任に係る評議員会招集の件
第 5 回	平成 30 年 3 月 13 日	平成 29 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支補正予算（第 1 号） 公益財団法人鹿児島市水族館公社職員給与規程一部改正の件 平成 30 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画 平成 30 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支予算

(2) 評議員会

平成 29 年度の評議員会の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

区分	開催日	議決事項
第 1 回	平成 29 年 4 月 10 日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事・監事及び評議員選任の件
第 2 回	平成 29 年 6 月 1 日	公益財団法人鹿児島市水族館公社評議員選任の件
第 3 回	平成 29 年 6 月 15 日	公益財団法人鹿児島市水族館公社評議員選任の件
第 4 回	平成 29 年 6 月 26 日	公益財団法人鹿児島市水族館公社役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程一部改正の件 平成 28 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告及び収支決算
第 5 回	平成 30 年 2 月 1 日	公益財団法人鹿児島市水族館公社理事及び評議員選任の件
第 6 回	平成 30 年 3 月 20 日	平成 29 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支補正予算（第 1 号） 平成 30 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画 平成 30 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支予算

4 役員等に関する事項

(1) 平成30年3月31日現在の役員は次のとおりです。

役職名	氏名	就任年月日
理事長	森 博 幸	平成16年12月23日
副理事長	松山 芳英	平成29年4月10日
常務理事	畠 幸 市	平成26年6月1日
理事	岩元 恭一	平成7年10月1日
理事	犬伏 和章	平成29年4月10日
理事	佐潟 隆一	平成30年2月1日
理事	四宮 明彦	平成7年10月1日
理事	寺 菌 玲子	平成24年4月1日
理事	中村 耕治	平成20年11月5日
理事	吉田 ミツ江	平成11年4月1日
理事	杉元 羊一	平成28年4月1日
理事	山口 順一	平成29年4月10日
監事	高橋 雷太	平成17年5月1日
監事	小川 治幸	平成29年4月10日

(2) 平成30年3月31日現在の評議員は次のとおりです。

役職名	氏名	就任年月日
会長	杉木 和子	平成24年4月1日
評議員	岩坪 恵美子	平成24年4月1日
評議員	久保 誠	平成29年6月15日
評議員	白橋 大信	平成24年11月1日
評議員	杉浦 孝志	平成29年6月1日
評議員	圖師 俊彦	平成29年6月1日
評議員	古河 結城	平成29年4月10日
評議員	眞方 ゆかり	平成30年2月1日
評議員	本村 浩之	平成24年4月1日
評議員	山本 智子	平成24年4月1日
評議員	中崎 新一郎	平成29年4月10日
評議員	玉利 淳	平成28年4月1日

5 登記事項

平成29年度の登記事項は次のとおりです。

登記年月日	申請先	事項	登記原因年月日
平成29年 4月21日	鹿児島地方法務局	理事・監事及び評議員の変更	平成29年 4月10日
平成29年 6月13日	鹿児島地方法務局	評議員の変更	平成29年 6月 1日
平成29年 6月28日	鹿児島地方法務局	評議員の変更	平成29年 6月15日
平成30年 2月13日	鹿児島地方法務局	理事及び評議員の変更	平成30年 2月 1日

6 常勤の役員及び職員に関する事項

平成30年3月31日現在の人員は次のとおりです。

常務理事	事務局長 館長	公社職員	嘱託員	臨時職員
1人	2人	29人	28人	33人
	事務局長 1人	総務課 10人 課長 1人 主幹 1人 管理係 係長（総務課長事務取扱） 事務職員 3人 施設係 係長 1人 主任 1人 技術職員 1人 企画営業係 係長（総務課主幹事務取扱） 事務職員 2人	アクアレディ 券売・案内・展示解説 15人 商品販売・管理 9人 設備管理保全 1人	事務補助 4人 飼育補助員 8人 水路管理補助 1人 調餌補助 4人 展示解説 16人
	館長 1人	展示課 19人 課長 1人 主幹 1人 魚類展示係 係長 1人 主任 2人 技術職員 5人 海獣展示係 係長 1人 主査 1人 主任 1人 技術職員 4人 学習交流係 係長（展示課主幹事務取扱） 技術職員 2人	飼育 2人 事務 1人	

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（平成十九年四月二十日法務省令第二十八号）第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないため、平成29年度事業報告の附属明細書については作成しておりません。

平成29年度公益財団法人鹿児島市水族館公社決算報告書

1 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	242,047,806	187,717,622	54,330,184
未収金	1,919,489	2,128,571	△ 209,082
商品	94,469	134,511	△ 40,042
貯蔵品	865,617	1,268,843	△ 403,226
流動資産合計	244,927,381	191,249,547	53,677,834
2.固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	200,000,000	304,013	199,695,987
投資有価証券	0	177,120,000	△ 177,120,000
基本財産合計	200,000,000	177,424,013	22,575,987
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	143,113,498	109,276,685	33,836,813
減価償却引当資産	2,425,858	8,118,966	△ 5,693,108
特定資産合計	145,539,356	117,395,651	28,143,705
(3) その他固定資産			
車両運搬具	429,750	620,750	△ 191,000
什器備品	13,103,872	10,096,890	3,006,982
電話加入権	226,408	226,408	0
預託金	8,070	8,070	0
投資有価証券	0	88,560,000	△ 88,560,000
その他固定資産合計	13,768,100	99,512,118	△ 85,744,018
固定資産合計	359,307,456	394,331,782	△ 35,024,326
資産合計	604,234,837	585,581,329	18,653,508
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	79,844,585	126,157,183	△ 46,312,598
預り金	3,927,606	7,378,406	△ 3,450,800
流動負債合計	83,772,191	133,535,589	△ 49,763,398
2.固定負債			
退職給付引当金	143,113,498	120,564,678	22,548,820
固定負債合計	143,113,498	120,564,678	22,548,820
負債合計	226,885,689	254,100,267	△ 27,214,578
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	200,000,000	177,424,013	22,575,987
指定正味財産合計	200,000,000	177,424,013	22,575,987
2.一般正味財産			
剰余金	177,349,148	154,057,049	23,292,099
一般正味財産合計	177,349,148	154,057,049	23,292,099
正味財産合計	377,349,148	331,481,062	45,868,086
負債及び正味財産合計	604,234,837	585,581,329	18,653,508

2 貸借対照表内訳表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1.流動資産					
現金	10,220,145	4,900,643	0		15,120,788
普通預金	101,546,460	125,380,558	0		226,927,018
未収金	383,202	2,384,765	0	△ 848,478	1,919,489
商品	0	94,469	0		94,469
貯蔵品	0	865,617	0		865,617
流動資産合計	112,149,807	133,626,052	0	△ 848,478	244,927,381
2.固定資産					
(1)基本財産					
普通預金	200,000,000	0	0		200,000,000
投資有価証券	0	0	0		0
基本財産合計	200,000,000	0	0	0	200,000,000
(2)特定資産					
退職給付引当普通預金	141,154,998	1,958,500	0		143,113,498
退職給付引当有価証券	0	0	0		0
減価償却引当普通預金	0	2,425,858	0		2,425,858
特定資産合計	141,154,998	4,384,358	0	0	145,539,356
(3)その他固定資産					
車両運搬具	0	429,750	0		429,750
什器備品	0	13,103,872	0		13,103,872
電話加入権	0	76,440	149,968		226,408
預託金	0	8,070	0		8,070
投資有価証券	0	0	0		0
その他固定資産合計	0	13,618,132	149,968	0	13,768,100
固定資産合計	341,154,998	18,002,490	149,968	0	359,307,456
資産合計	453,304,805	151,628,542	149,968	△ 848,478	604,234,837
II 負債の部					
1.流動負債					
未払金	65,619,248	15,073,815		△ 848,478	79,844,585
預り金	3,927,606	0			3,927,606
流動負債合計	69,546,854	15,073,815	0	△ 848,478	83,772,191
2.固定負債					
退職給付引当金	141,154,998	1,958,500			143,113,498
固定負債合計	141,154,998	1,958,500	0	0	143,113,498
負債合計	210,701,852	17,032,315	0	△ 848,478	226,885,689
III 正味財産の部					
1.指定正味財産					
寄付金	200,000,000	0	0	0	200,000,000
指定正味財産合計	200,000,000	0	0	0	200,000,000
2.一般正味財産					
剰余金	42,602,953	134,596,227	149,968	0	177,349,148
一般正味財産合計	42,602,953	134,596,227	149,968	0	177,349,148
正味財産合計	242,602,953	134,596,227	149,968	0	377,349,148
負債及び正味財産合計	453,304,805	151,628,542	149,968	△ 848,478	604,234,837

3 正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	3,305,533	3,280,000	25,533
受取補助金等	723,859,127	696,824,099	27,035,028
事業収益	235,883,084	230,193,914	5,689,170
雑収益	6,585,047	5,866,573	718,474
経常収益計	969,632,791	936,164,586	33,468,205
(2) 経常費用			
自主事業費	7,705,712	3,295,944	4,409,768
受託事業費	722,051,676	662,078,745	59,972,931
管理費	39,378,670	36,837,853	2,540,817
収益事業費	199,015,626	194,763,433	4,252,193
経常費用計	968,151,684	896,975,975	71,175,709
評価損益等調整前当期 経常増減額	1,481,107	39,188,611	△ 37,707,504
特定資産評価損益	11,287,993	26,166,200	△ 14,878,207
投資有価証券評価損益	11,414,500	26,166,200	△ 14,751,700
当期経常増減額	24,183,600	91,521,011	△ 67,337,411
2.経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	1	3,683,681	△ 3,683,680
当期経常外増減額	△ 1	△ 3,683,681	3,683,680
税引前当期一般正味財産増減額	24,183,599	87,837,330	△ 63,653,731
法人税、住民税及び事業税	891,500	5,124,100	△ 4,232,600
当期一般正味財産増減額	23,292,099	82,713,230	△ 59,421,131
一般正味財産期首残高	154,057,049	71,343,819	82,713,230
一般正味財産期末残高	177,349,148	154,057,049	23,292,099
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益	22,575,987	52,332,400	△ 29,756,413
当期指定正味財産増減額	22,575,987	52,332,400	△ 29,756,413
指定正味財産期首残高	177,424,013	125,091,613	52,332,400
指定正味財産期末残高	200,000,000	177,424,013	22,575,987
III 正味財産期末残高	377,349,148	331,481,062	45,868,086

4 正味財産増減計算書内訳表

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	自主事業	受託事業	小計			
I 一般正味財産増減の部						
1.経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用収益	3,305,533	0	3,305,533	0	0	3,305,533
基本財産受取配当金	2,296,000	0	2,296,000	0	0	2,296,000
基本財産売却益	1,009,533	0	1,009,533	0	0	1,009,533
受取補助金等	500,000	692,418,440	692,918,440	0	30,940,687	723,859,127
管理受託収入	0	691,580,640	691,580,640	0	30,940,687	722,521,327
民間補助金収入	500,000	837,800	1,337,800	0	0	1,337,800
事業収益	0	0	0	235,883,084	0	235,883,084
館内販売事業収入	0	0	0	217,973,213	0	217,973,213
自動販売機収入等	0	0	0	17,909,871	0	17,909,871
雑収益	65,433	3,942,297	4,007,730	2,577,317	0	6,585,047
受取配当金	0	1,148,000	1,148,000	1,148,000	0	2,296,000
有価証券売却益	0	1,064,527	1,064,527	1,032,159	0	2,096,686
雑収入	65,433	1,729,770	1,795,203	397,158	0	2,192,361
経常収益計	3,870,966	696,360,737	700,231,703	238,460,401	30,940,687	969,632,791
(2) 経常費用						
事業費	7,705,712	722,051,676	729,757,388	199,015,626	0	928,773,014
役員報酬	0	2,419,956	2,419,956	502,848	0	2,922,804
報酬	0	41,298,833	41,298,833	20,370,994	0	61,669,827
給料	0	79,612,500	79,612,500	5,024,700	0	84,637,200
職員手当	0	63,535,292	63,535,292	3,448,389	0	66,983,681
臨時職員賃金	0	30,157,544	30,157,544	2,615,696	0	32,773,240
退職給付費用	0	22,212,000	22,212,000	679,000	0	22,891,000
福利厚生費	0	33,218,164	33,218,164	5,004,768	0	38,222,932
会議費	377,869	350,419	728,288	20,250	0	748,538
旅費交通費	255,820	6,922,882	7,178,702	153,002	0	7,331,704
通信運搬費	164,908	2,050,121	2,215,029	201,247	0	2,416,276
減価償却費	0	0	0	1,406,277	0	1,406,277
消耗什器備品費	0	3,565,847	3,565,847	13,262	0	3,579,109
消耗品費	886,819	29,771,582	30,658,401	4,044,707	0	34,703,108
水族購入費	0	1,951,178	1,951,178	0	0	1,951,178
飼料購入費	0	14,736,100	14,736,100	0	0	14,736,100
修繕費	25,446	32,187,623	32,213,069	73,440	0	32,286,509
印刷製本費	4,561,920	6,638,866	11,200,786	0	0	11,200,786
燃料費	0	34,165,810	34,165,810	0	0	34,165,810
光熱水料費	0	92,507,575	92,507,575	651,000	0	93,158,575
賃借料	1,138,810	7,600,873	8,739,683	1,797,370	0	10,537,053
保険料	47,445	327,811	375,256	41,530	0	416,786
諸謝金	100,000	446,144	546,144	100,000	0	646,144
手数料	146,675	8,576,171	8,722,846	63,742	0	8,786,588
広報宣伝費	0	34,609,538	34,609,538	0	0	34,609,538
租税公課	0	20,456,029	20,456,029	6,152,510	0	26,608,539
負担金	0	1,147,286	1,147,286	0	0	1,147,286
寄付金	0	200,000	200,000	0	0	200,000
委託費	0	151,385,532	151,385,532	382,320	0	151,767,852
館内販売仕入費	0	0	0	146,268,574	0	146,268,574

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	自主事業	受託事業	小計			
管理費	0	0	0	0	39,378,670	39,378,670
役員報酬	0	0	0	0	519,996	519,996
報酬	0	0	0	0	218,967	218,967
給料	0	0	0	0	13,405,466	13,405,466
職員手当	0	0	0	0	11,067,919	11,067,919
臨時職員賃金	0	0	0	0	3,151,120	3,151,120
福利厚生費	0	0	0	0	4,614,795	4,614,795
会議費	0	0	0	0	313,867	313,867
旅費交通費	0	0	0	0	275,590	275,590
通信運搬費	0	0	0	0	1,082,672	1,082,672
消耗品費	0	0	0	0	560,212	560,212
印刷製本費	0	0	0	0	1,611,713	1,611,713
賃借料	0	0	0	0	453,048	453,048
保険料	0	0	0	0	64,800	64,800
手数料	0	0	0	0	385,844	385,844
租税公課	0	0	0	0	1,018,661	1,018,661
負担金	0	0	0	0	634,000	634,000
経常費用計	7,705,712	722,051,676	729,757,388	199,015,626	39,378,670	968,151,684
評価損益等調整前当期 経常増減額	△ 3,834,746	△ 25,690,939	△ 29,525,685	39,444,775	△ 8,437,983	1,481,107
特定資産評価損益	0	11,287,993	11,287,993	0	0	11,287,993
投資有価証券評価損益	0	0	0	11,414,500	0	11,414,500
当期経常増減額	△ 3,834,746	△ 14,402,946	△ 18,237,692	50,859,275	△ 8,437,983	24,183,600
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
固定資産除却損				1		
経常外費用計	0	0	0	1	0	1
当期経常外増減額	0	0	0	△ 1	0	△ 1
他会計振替額	0	26,562,017	26,562,017	△ 35,000,000	8,437,983	0
税引前当期一般正味 財産増減額	△ 3,834,746	12,159,071	8,324,325	15,859,274	0	24,183,599
法人税、住民税及び 事業税	0	0	0	891,500	0	891,500
当期一般正味財産増減額	△ 3,834,746	12,159,071	8,324,325	14,967,774	0	23,292,099
一般正味財産期首残高	17,923,476	16,355,152	34,278,628	119,628,453	149,968	154,057,049
一般正味財産期末残高	14,088,730	28,514,223	42,602,953	134,596,227	149,968	177,349,148
II 指定正味財産増減の部						
基本財産評価損益	22,575,987	0	22,575,987	0	0	22,575,987
当期指定正味財産増減額	22,575,987	0	22,575,987	0	0	22,575,987
指定正味財産期首残高	177,424,013	0	177,424,013	0	0	177,424,013
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	200,000,000	0	0	200,000,000
III 正味財産期末残高	214,088,730	28,514,223	242,602,953	134,596,227	149,968	377,349,148

5 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品及び貯蔵品は、移動平均法によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法による減価償却を実施している。
- (3) 有価証券の評価基準及び評価方法
その他の有価証券…時価によっている。
- (4) 退職給付引当金の計上基準
期末退職給与の要支給額を限度として計上している。
- (5) 消費税の会計処理
消費税の会計処理は税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	304,013	199,695,987		200,000,000
投資有価証券	177,120,000	22,575,987	199,695,987	0
小計	177,424,013	222,271,974	199,695,987	200,000,000
特定資産				
退職給付引当普通預金	20,716,685	122,396,813		143,113,498
退職給付引当有価証券	88,560,000	11,287,993	99,847,993	0
減価償却引当普通預金	8,118,966	1,406,278	7,099,386	2,425,858
小計	117,395,651	135,091,084	106,947,379	145,539,356
合計	294,819,664	357,363,058	306,643,366	345,539,356

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	200,000,000	200,000,000		
投資有価証券	0	0		
小計	200,000,000	200,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当普通預金	143,113,498			143,113,498
退職給付引当有価証券	0			0
減価償却引当普通預金	2,425,858		2,425,858	
小計	145,539,356	0	2,425,858	143,113,498
合計	345,539,356	200,000,000	2,425,858	143,113,498

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品				
什器	10,503,960	1,023,259	1,611,942	8,892,018
備品	4,691,520	192,018	479,666	4,211,854
車両運搬具	764,000	191,000	334,250	429,750
合計	15,959,480	1,406,277	2,425,858	13,533,622

6 附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、5 財務諸表に対する注記「2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略します。

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	120,564,678	22,548,820	0	0	143,113,498

7 財産目録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	15,120,788		
	普通預金	南日本銀行本店	運転資金として	218,788,018		
			ジンベエザメ収集展示資金	4,639,000		
			イルカ通路仕切網整備資金	3,500,000		
	未収金	自動販売機2社 信販他4社 携帯電話2社 コンパス九州 西郷どん館 三井住友海上火災	売上手数料と光熱水費	770,888		
			商品の売掛金と送料	848,841		
			館内設置アンテナ使用電気代	82,259		
			館内レストラン光熱水費	204,595		
チケット販売手数料			7,026			
レクリエーション保険還付金			5,880			
商品	売店	書籍、文房具など	94,469			
貯蔵品	売店	包装用品など	865,617			
流動資産合計				244,927,381		
(固定資産)	基本財産	普通預金	南日本銀行本店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	200,000,000	
	特定資産	退職給付引当資産	普通預金	南日本銀行本店	公社員29名に対する退職金の支払いに備えたもの	143,113,498
			減価償却引当資産	普通預金	南日本銀行本店	収益事業の用に供している什器備品の償却引当資産
	その他 固定資産	車両運搬具	軽貨物自動車1台	収益事業の用に供している	429,750	
		什器備品	大型金庫1台	収益事業の用に供している	19,071	
			POSシステム	同上	3,929,400	
			店内構造物(書棚含)	同上	8,872,947	
			IPトランシーバ	同上	160,774	
			両替機	同上	121,680	
		電話加入権	2回線分	管理部門の用に供している	149,968	
1回線分	収益事業の用に供している		76,440			
預託金	1件分	自動車1台リサイクル料金(収益事業)	8,070			
固定資産合計				359,307,456		
資産合計				604,234,837		

(単位：円)

貸借対照表科目		債務の相手等	債務の内容等	金額
(流動負債)	未払金	芙蓉商事	設備管理および清掃代3月分	6,750,000
		日立プラントサービス	熱源・空調設備保守点検および修繕	5,751,000
		九州電力	光熱費3月分	5,546,142
		明電エンジニアリング	自家発電設備保全管理業務	2,905,200
		きたやま	発電用燃料代3月分など	2,760,480
		鹿児島市水道局	上水道および下水道料金2-3月分	1,888,146
		日本ガス	ガス料金3月分	1,802,653
		サニタリー	汚泥処理	1,711,800
		テレビ宮崎商事	テレビCM	1,296,000
		宮崎放送	テレビCM	1,296,000
		三菱電機ビルテクノサービス	エレベータ、エスカレーター保守点検	1,235,844
		九州総合警備保障	警備3月分	1,231,840
		鹿児島市交通局	広告費	1,212,480
		AQUA	商品仕入れ	1,112,505
		南日本放送	テレビCM	1,080,000
		鹿児島テレビ放送	テレビCM	1,080,000
		鹿児島放送	テレビCM	1,080,000
		熊本放送	テレビCM	1,080,000
		熊本朝日放送	テレビCM	1,080,000
		九電通	消防設備保守点検業務	1,007,640
		他89社	仕入、消耗品、水族、飼料、保守修繕等	13,523,932
		各税務機関	決算時各種税	8,080,800
		当公社従業員	3月分報酬、職員手当等	6,230,779
		社会保険事務所	各種社会保険料	2,748,661
		鹿児島市	水族館運営委託費精算金	6,311,183
		鹿児島市	水族館利用券取扱い手数料鹿児島市納入分	41,500
	預り金	社会保険料	2,837,497	
	所得税と住民税	1,090,109		
流動負債合計				83,772,191
(固定負債)	退職給付引当金	職員分	公社員29名に対する退職金の支払いに備えたもの	143,113,498
固定負債合計				143,113,498
負債合計				226,885,689
正味財産				377,349,148

監 査 報 告 書

平成 30 年 5 月 30 日

公益財団法人鹿児島市水族館公社
理事長 森 博幸 殿

公益財団法人鹿児島市水族館公社

監 事 高橋 雷太 

監 事 小川 治幸 

私たち監事は、公益財団法人鹿児島市水族館公社の平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの第 6 期事業年度における会計及び業務の監査を行い、その方法の概要及び結果について次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等から業務の報告を聴取し、必要に応じて説明を求めるとともに、重要な関係書類の閲覧を実施し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討した。
- (2) 会計帳簿又はこれに関連する資料の閲覧、調査を実施し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討した。

2 監査の結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以 上